

辛亥革命後の中国・・・

- 1911 辛亥革命
- 1912 中華民国成立 孫文臨時大總統
袁世凱臨時大總統
- 1915 対中国 二十一カ条の要求
- 1916 袁世凱死去 → 軍閥支配の北京政府続く(段キ瑞)
- 1919 五・四運動 中国国民党結成
- 1921 中国共産党結成

- 1924 第一次国共合作
- 1925 孫文死去 → 蒋介石(後継者)
- 1926 蒋介石率いる国民革命軍 → 北伐開始
- 1927 南京に国民政府樹立

田中義一内閣

- ・外相兼任(対中国 積極外交)・蔵相 高橋是清
- 内政・・・モラトリアム→金融恐慌得を收拾
第一回普通選挙実施
- 外交・・・対中国積極外交への転換。対欧米諸国協調外交は継続

・対欧米協調外交

- 1927年 【 】・・・米・英・日の補助艦制限→不成立
- 1928年 【(パリ)・・・15カ国(参加国)】
→戦争放棄を「其ノ各自ノ人民ノ名ニ於イテ」の部分保留し批准。

・対中国積極外交

- 1919年 関東都督府が関東庁へ改変・・・関東軍が大陸進出への急先鋒
- 1927年 【 】・・・3次にわたる出兵(1927～1928)
目的:国民革命軍の北伐阻止。満州軍閥張作霖を支持
名目:日本人居留民の保護
【 】・・・中国関係の外交官・軍代表を東京に招集。
要約→満蒙の権力を実力で守る
- 1928年 第2次山東出兵 【 】(国民革命軍との武力衝突)
第3次山東出兵 【 】(満州某重大事件と呼ばれた)
→関東軍(参謀河本大作が奉天郊外で張作霖を列車ごと爆殺)
- 1929年 事件の処理を巡り昭和天皇の不興をかい内閣総辞職

●北伐の完了

易幟(1928)・・・張学良が国民政府に合流。満州全土で国民党の青天白日旗を掲げた。

- 1928年 張学良は勢力下にあった満洲を国民政府支配下の土地と認める。
→国民党の北伐完了。中国全土の統一がほぼ達成された。

1931年 国民政府、不平等条約の無効を一方的に宣言する外交方針を取る。